



高石小学校だより

『 たくましい子・かしこい子・いよくのある子・やさしい子 』



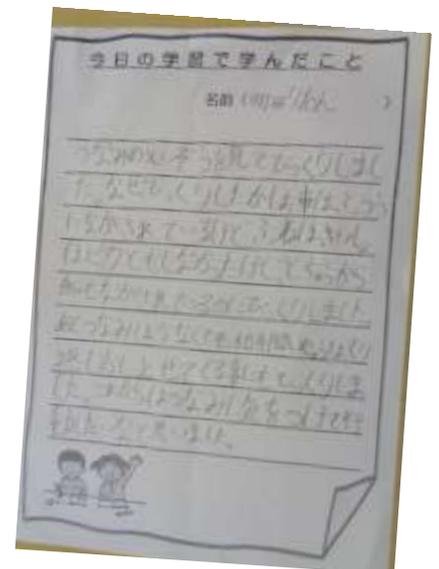
2021
7.1
NO.9
文責:弘瀬

～各学年の防災授業～

6月27日（日）に予定していた参観日は土佐市での新型コロナウイルス感染症拡大予防により、3日前の急な中止になりましたこととお詫びいたします。各学年の授業参観や愛校作業、PTA 役員会等がなくなりましたが、子どもたちの学習は予定通りに行っています。また、愛校作業や役員会等につきましてはPTA 役員さんとも相談させていただきます。

防災の学習は1学期だけではなく、高知県では年間で各学年5時間以上学習するように決まっています。これからも総合や社会科、理科、生活科、学級活動等で系統的に学習を行います。参観日に公開する予定だった防災の授業について各学年の学習の様子をお知らせします。

学級名	教科	内容
1年生	生活（防災）	じしんがおきた時、どうすればいいのかな
2年生	生活（防災）	つなみってどんなもの？津波からにげるところはどこ？
3年生	総合（防災）	南海トラフ地震を知ろう
4年生	総合（防災）	どこにいても地震から身を守るために
5年生	総合（防災）	災害時にできなくなることはなんだろう
6年生	総合（防災）	高石小防災倉庫にある避難所グッズを体験してみよう



だんごむしのポーズを真剣に学ぶ1年生



3年生 津波は走ってもにげられないスピードでおそってくる



つなみってどんなものか東日本の映像をみる2年生



4年生 どこにいても身を守るために大事なことは？



5・6年生 防災倉庫にあるコロナ禍での避難所の備品を体験。中はこれくらいの広さです。

参観日に先立って教職員が土佐市地域防災課の職員の方から避難所の新しい備品の組み立て方を習いました。参観日には6年生が保護者と共に体験する予定でしたが、今回は5年生も一緒に参加して家族用のつい立て（パーテーション）やトイレの組み立てを体験しました。5年生は後日、災害時のライフラインについて学習する予定です。



～ヒマワリの種まきをしました～

6月24日（木）に1・2年生が学校東側の広い畑にヒマワリの種まきをしました。この種は「はるかかのひまわり絆プロジェクト」の種です。1995年1月17日の阪神・淡路大震災でつぶれた家のがれきの下から発見されたはるかちゃん。震災から半年後、はるかちゃんの家があった空き地にたくさんのヒマワリの花が力強く太陽に向かって咲いていたそうです。

高石地区青少年育成協議会が高石保育園の園児や高石小の児童に、「阪神淡路大震災を忘れないで命の尊さや南海トラフ地震への備えについてみんなで考えてほしい」との願いから、ヒマワリの種を譲り受け、植えることになりました。

当日は梅雨の晴れ間の中、一人一人が割り当てられた区画（およそ3m×3mほど）に袋に入った種を一粒ずつ埋めていきました。暑くて途中で水分補給をしながら、最後までみんながんばりました。

3 か月ほどで背の高いヒマワリが咲くそうです。9月が楽しみです。

そして、今週、5年生がヒマワリ畑の看板を写真の授業で作りました。道路側に設置する予定です。ひまわりの成長と共に合わせてご覧ください。



↓ご意見ご感想がありましたら、担任までお戻しください。

返信（ ）年（ ）組 保護者名（ ）